

令和7年度（I期）

感染管理認定看護師教育課程 入学選考試験問題

専門科目Ⅰ：四肢択一

以下の問題について該当する番号を一つ選び、解答欄に記入しなさい。

【問題1】日本看護協会が示す認定看護師が果たすべき役割として正しいのはどれか。

1. 教育
2. 相談
3. 研究
4. 倫理調整

【問題2】日和見感染症の説明として正しいのはどれか。

1. 兆候や症状のない感染症
2. 複数の国や大陸で大流行している感染症
3. 伝染力が強く危険性の極めて高い感染症
4. 健康な人では原因とならない病原体で発生する感染症

【問題3】感染の成立において、予防接種が影響を与える要素として正しいのはどれか。

1. 宿主の感受性
2. 感染経路
3. 感染性
4. 病原体

【問題4】2類感染症として正しいのはどれか。

1. マイコプラズマ肺炎
2. ペスト
3. ジフテリア
4. パラチフス

【問題5】次の感染症のうち、直ちに保健所に届け出る必要があるのはどれか。

1. 結核
2. 破傷風
3. 百日咳
4. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

【問題 6】 ワクチンの 2 回接種が定期接種となっているものとして正しいのはどれか。

1. 小児肺炎球菌
2. 麻疹
3. 日本脳炎
4. 髄膜炎菌

【問題 7】 生ワクチンとして正しいのはどれか。

1. B 型肝炎
2. 新型コロナ
3. 肺炎球菌
4. 水痘

【問題 8】 黄色ブドウ球菌のグラム染色性および形態として正しいのはどれか。

1. 陽性球菌
2. 陽性桿菌
3. 陰性球菌
4. 陰性桿菌

【問題 9】 大腸菌はどれか。

1. *Escherichia coli*
2. *Staphylococcus aureus*
3. *Serratia marcescens*
4. *Pseudomonas aeruginosa*

【問題 10】 結核菌についての説明として正しいのはどれか。

1. 骨へは感染しない。
2. グラム染色でよく染まる。
3. 培養により数時間で増殖する。
4. PCR（核酸増幅法）では死菌でも陽性となる。

【問題 11】芽胞形成菌の説明として正しいのはどれか。

1. 栄養が豊富で発育環境が整うと形成される。
2. 熱や乾燥に強い抵抗性を持つ。
3. 芽胞形成された細菌は増殖できる。
4. 消毒用エタノールが有効である。

【問題 12】ウイルスの説明として誤っているのはどれか。

1. DNA と RNA のどちらかを有する。
2. 抗菌薬に感受性がない。
3. 人工培地で発育する。
4. 細胞としての構造はもたない。

【問題 13】エンベロープを有するウイルスとして正しいのはどれか。

1. ノロウイルス
2. ロタウイルス
3. アデノウイルス
4. ジカウイルス

【問題 14】病原微生物迅速診断検査の検体に、尿を使用するものとして正しいのはどれか。

1. 肺炎球菌
2. RS ウイルス
3. アデノウイルス
4. A 群溶血性連鎖球菌

【問題 15】薬剤耐性菌の略語と正式名称の組み合わせとして正しいのはどれか。

1. VRE ————— バラシクロビル耐性腸球菌
2. PRSP ————— ピペラシリン耐性肺炎桿菌
3. CRE ————— カルバペネム耐性腸内細菌目細菌
4. MDRA ————— ミノサイクリン耐性アシネトバクター

【問題 16】薬剤耐性のメカニズムの説明として誤っているのはどれか。

1. 分解酵素の産生
2. 作用点の変異
3. 抗菌薬の排出
4. 細菌増殖の速度低下

【問題 17】カルバペネム系抗菌薬として正しいのはどれか。

1. セフェピム
2. メロペネム
3. アミカシン
4. メトロニダゾール

【問題 18】個人防護具を外す順番として正しいのはどれか。

1. 手袋 → ゴーグル → ガウン → マスク
2. マスク → ゴーグル → ガウン → 手袋
3. ゴーグル → ガウン → 手袋 → マスク
4. 手袋 → マスク → ゴーグル → ガウン

【問題 19】手指衛生の説明として適切なのはどれか。

1. 石けんは泡立てずに、塗り込むようにして手を洗う。
2. 同一患者であれば手袋の上から手指消毒すればよい。
3. アルコールによる手指消毒は手荒れの原因となることが多い。
4. 下痢をしている患者のオムツ交換後は流水と石けんによる手洗いを優先する。

【問題 20】米国 CDC（Center for Disease Control and Prevention）の「隔離予防策のためのガイドライン 2007」による感染症と感染予防策の組み合わせとして正しいのはどれか。

1. 梅毒 ————— 接触感染予防策
2. 後天性免疫不全症候群 ————— 標準予防策
3. ノロウイルス感染症 ————— 空気感染予防策
4. 麻疹 ————— 飛沫感染予防策

【問題 21】ダニによって媒介される感染症として正しいのはどれか。

1. ウエストナイル熱
2. 日本脳炎
3. ツツガムシ病
4. デング熱

【問題 22】飛沫によって感染する病原体として正しいのはどれか。

1. MRSA
2. ポリオ
3. レジオネラ
4. 肺炎マイコプラズマ

【問題 23】カテーテル関連尿路感染予防として適切なのはどれか。

1. 膀胱洗浄を定期的に行う。
2. カテーテル固定をする。
3. 定期的に交換する。
4. 挿入部を毎日消毒する。

【問題 24】マキシマル・バリア・プリコーションとして適切でないのはどれか。

1. N95 マスク
2. 帽子
3. 滅菌手袋
4. 患者の全身を覆うドレープ

【問題 25】人工気道を有する患者の気管吸引順序として、最後にすべきなのはどれか。

1. 鼻 腔
2. 口 腔
3. 気管チューブ
4. サイドチューブ

【問題 26】人工呼吸器関連肺炎予防として適切でないのはどれか。

1. 鎮静評価を毎日行う。
2. 頭位を挙上する。
3. 人工呼吸器回路を 7 日毎に交換する。
4. 人工呼吸器からの離脱できるかを毎日評価する。

【問題 27】針刺し・切創時の初期対応として最も適切なのはどれか。

1. 消毒する。
2. 血液を絞り出す。
3. 流水で洗浄する。
4. 流水と石けんで洗浄する。

【問題 28】ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の説明として正しいのはどれか

1. 逆転写酵素はもたない。
2. CD4 陽性細胞に感染する。
3. 単剤による薬物療法が基本である。
4. 他のウイルスに比べて非常に感染力が強い。

【問題 29】B 型肝炎ウイルス（HBV）の説明として正しいのはどれか。

1. 経口感染する。
2. 持続感染する。
3. 環境表面では生存できない。
4. アルコールに感受性がない。

【問題 30】Spaulding の分類によるクリティカル器材として正しいのはどれか。

1. 人工呼吸器回路
2. 軟性内視鏡
3. 直腸体温計
4. ペースメーカー

【問題 31】高水準消毒薬はどれか。

1. 過酢酸
2. ポビドンヨード
3. 消毒用エタノール
4. 次亜塩素酸ナトリウム

【問題 32】逆性石けんの説明として正しいのはどれか。

1. 抗菌スペクトルが広い。
2. 芽胞に対して有効である。
3. 陽イオン界面活性剤である。
4. 生体への使用は禁忌である。

【問題 33】結核菌に効果のある消毒薬として正しいのはどれか。

1. イソプロパノール
2. ベンゼトニウム塩化物
3. ベンザルコニウム塩化物塩
4. クロルヘキシジングルコン酸塩

【問題 34】HBV 陽性者に使用した歯科器具の初期処理法として適切なのはどれか。

1. 滅菌する。
2. 流水で十分洗浄する。
3. 高水準消毒薬に浸漬させる。
4. 廃棄する。

【問題 35】化学的滅菌法として正しいのはどれか。

1. 乾熱
2. 高圧蒸気
3. ガンマ線
4. 酸化エチレンガス

【問題 36】 橙色のバイオハザードマークの付いた容器に廃棄するのはどれか。

1. 未使用の注射針
2. 未使用の包帯
3. ディスポシリング
4. ギプス用石膏

【問題 37】 日本国内で標準的なリネン洗濯の熱水消毒法として正しいのはどれか。

1. 80℃で 10 分以上
2. 60℃で 5 分以上
3. 45℃で 30 分以上
4. 20℃で 60 分以上

【問題 38】 初乳に多く含まれる抗体はどれか。

1. IgA
2. IgD
3. IgG
4. IgM

【問題 39】 自然免疫でないのはどれか。

1. リゾチーム
2. 線毛運動
3. 常在細菌叢
4. ワクチン

【問題 40】 妊娠初期の感染で児に白内障が生じる可能性が高いのはどれか。

1. 麻疹
2. 風疹
3. 侵襲性髄膜炎
4. 重症熱性血小板減少症候群

Aさん 40歳代男性、3日前から微熱と強い倦怠感を自覚したため受診した。
血液検査によって肝機能異常が認められ、急性肝炎の診断で入院した。
これまで肝臓の異常を指摘されたことはなく、家族で肝臓疾患を罹患したものはいない。
Aさんへの聞き取りから、1か月前に生の牡蠣を摂取したことがわかった。

【問題 41】 Aさんが罹患した肝炎として最も考えられるのはどれか。

1. A型肝炎ウイルス
2. B型肝炎ウイルス
3. C型肝炎ウイルス
4. D型肝炎ウイルス

【問題 42】 Aさんが罹患した肝炎についての説明として正しいのはどれか。

1. 慢性肝炎に移行しやすい。
2. インターフェロン療法を行う。
3. 潜伏期間は2～6週間である。
4. 劇症化することはない。

Bさん 30歳代女性、東南アジアへ出張していた。帰国した翌日から頭痛、食欲不振、発熱と解熱を繰り返すため受診した。
症状の経過としては、悪寒戦慄後に激しい頭痛を伴う高熱が2～6時間持続する。その後発汗とともに解熱する。

【問題 43】 この患者が罹患している可能性が最も高い疾患はどれか。

1. 腸チフス
2. 破傷風
3. オウム病
4. マラリア

【問題 44】 この患者への対応として適切なのはどれか。

1. 緊急ワクチンを投与する。
2. 直ちに陰圧個室へ収容する。
3. 感染症法により、届出が必要であると説明する。
4. 指定された病院への入院が必要であると説明する。

Cさん6歳男児、発熱、上気道症状、結膜炎症状があり母とともに来院した。
男児の頬粘膜内に白色粘膜疹を認め、診察した医師は麻疹を強く疑った。
対応方法を確認するため、医師は感染管理担当者に連絡した。
母親にワクチン接種歴を確認したところ、男児は1歳時に1回ワクチン接種していた。

【問題 45】麻疹に特徴的な白色粘膜疹として正しいのはどれか。

1. 多形紅斑
2. コプリック斑
3. 蕁麻疹性湿疹
4. 伝染性白斑

【問題 46】母親への対応として適切でないのはどれか。

1. 入院治療が必須であると説明した。
2. 保健所への届け出が必要であると説明した。
3. 罹患歴やワクチン接種歴のない家族がいないか確認した。
4. 患者が触れた環境は、消毒用エタノールで擦式消毒するよう説明した。

今はインフルエンザウイルス感染症の流行期である。
昨日入院した患者 D さんが、今朝から発熱があると夜勤看護師より申し送りがあった。
患者 D さんの症状および様子は以下のようであった。

- ・ 職業は小学校の教員で、昨日の午前中まで勤務しており、憩室炎のため入院となった。
- ・ 深夜から悪寒があり、朝体温測定したところ 38.5℃であった。
- ・ 現在は発熱後 3 時間経過しており、関節痛と頭痛もある。

【問題 47】この患者への対応として最も適切なのはどれか。

1. インフルエンザワクチンの緊急投与を医師に依頼した。
2. インフルエンザウイルス抗原検査の実施を医師に確認した。
3. 患者へサージカルマスクの着用を促した。
4. 手指消毒から流水と石けんによる手洗いに切り替えた。

【問題 48】隔離予防策として適切なのはどれか。

1. 標準予防策
2. 接触予防策
3. 空気感染予防策
4. 飛沫感染予防策

E 病棟に入院中の患者 2 名の尿培養から MDRP が検出されたと細菌検査室より連絡があった。

患者や病棟の状況を確認したところ、以下のようであった。

- ・ 検出患者 2 人は 2 人部屋で同室であった。
- ・ 患者は 2 人とも尿道留置カテーテルを挿入していた。
- ・ 集尿は看護助手が行っており、ディスポ手袋とエプロンを装着して順番に患者を回り、部屋ごとに手袋とエプロンを交換していた。

【問題 49】 MDRP の正式名称として正しいのはどれか

1. メチシリン耐性緑膿菌
2. メタロ β ラクタマーゼ産生緑膿菌
3. 多剤耐性緑膿菌
4. マクロライド耐性緑膿菌

【問題 50】 看護助手への指導内容で適切なのはどれか。

1. 手袋は 2 重に装着する。
2. 手袋の上から手指消毒し、エプロンを脱ぐ。
3. 手袋は患者毎に交換し、エプロンは部屋ごとに交換する。
4. 手袋とエプロンは患者毎に交換する。